

長畝ふるさと通信



【2023年2月号】

■ 値上げラッシュでも暴落するコメの見えない未来

2022年は値上げの嵐が吹き荒れました。主な原因は原材料費の高騰・原油高・円安の3つだそうです。我が社でも肥料は30%、燃料費や電気料は20%近く経費がかさんでいます。大半の食料品が「威張って値上げする」中、コメをはじめ農林水産業は「全く価格転嫁できていない、していない」が43.8%もあるそうです。日本の主食であるコメは値上げすることを国民が理解してくれないのです。食料品メーカーは価格転嫁(値上げ)できた理由の多くは「原価を示して価格交渉し理解を得た」としていますが、農業は違うようです。ある米屋さんに何うと「むしろスーパーは値上げよりも、さらに安いコメを売り出している」そうで、「食料品が高くなっているからコメは安物に変えるしかない」といったコメを冒涇するかのやりようです。ネットで調べてみたら「1日一食コメを食べる」68.1%、・・・まあ、そんなもんか・・・「三食コメを食べる」16.7%、・・・なんてこった・・・「毎日一食以上は食べている」84.8%・・・ちょっと安心した・・・。つまり、まだ大半の国民は毎日一食はコメを食べているわけですが、問題はどんなコメを食べているかです。人口減少もあって、コメの消費は益々減少し、それとともに米価はこれからも下落していくことでしょう。いくら生産者が自ら生産調整をしてコメの生産量を落としても、一方では安いコメばかりが支持されていくのです。このままでは「瑞穂の国崩落」です・・・。急速な物価上昇で財布のひもは固くなるばかり。「良い品質のものを高く売るしかない」とは理想でしかありません。吹雪がやむのはいつの事やら・・・早く戦争が終わって元の経済状態に回復してもらいたいです。それまで頑張ります！



- 3月はWBC野球でも見て楽しく過ごすとしましょうか。